

があると思えば、いま一度見直しを検討する必要がありますと考えます。

また、大会等のあり方、開催方法の見直し等についても検討し、あわせて参加者のご意見をお聞きしまして有意義なものとなるように努力をまいります。

現在、大会等のほかに開催目的、構成団体等が類似している協議会も整理、統合、廃止を含めた検討を現在行っています。今後構成団体及び参加される方のご意見を賜りながら検討してまいります。

入札問題について

Q 市の入札における落札価格は、84・1%、あるいは500万以上から1,000万までが77%とのことだが、予定価格はどこに根拠を置いてされているのか、あるいは地元業者の育成について、どのように思われているのか。朝妻の1工区の下水道事業、あるいは吉野団地はなぜ不調に終わったのか。

財政再建で税金のむだ遣い

をなくしたいのはよくわかるが、業者さんをとことん痛めつけてやったのでは、かえってマイナスになるのではないかと

A 予定価格の設定につきましては、いろいろと独自のルートで情報収集し、市民の皆さんからお預かりしている税金がむだに使われないよう、有効に使うように心がけております。

地元業者は十分にこれまで長い年月のあいだに育成されてきたものと認識してまいります。一方で、地元の建設業者は災害等の場合の万一のそのときの役割も提供してくれる業者です。そういう業者につきましては、今後とも地域に不可欠な存在だと認識しており、この1年間で入札制度の問題点、それから大体の業者さんの施行コストの瀬踏みまできたと思っております。

入札不調の原因は明らかに予定価格が低かったということとです。今後予定価格は適正な競争のもとで、かつ行政の育成も考慮して高過ぎない、低過ぎないというような適正の価格へ設定するようなこと

ができるよう今後いろいろと再度見直していきます。

高齢者の足の確保

Q 高齢者の足の確保として、「戸口タクシ

ー」その家の戸口から目的地まで運ぶタクシー、予約制でそのようなシステムをつくれぬものか。この戸口タクシーは、全国的にも幾つか例がある。高齢所帯が千百何所帯もあり、また独居の老人もかなりいまからまだまだ増える中で、また路線バスの廃止等が出てくるので、この高齢者の足の確保としてのこの戸口タクシーの考えを尋ねる。

A 予約制の戸口タクシー、これは独居老人

対策としても有効だと思っております。現在、コミュニティバスを運行していますが、これは定時運行とはいえず、利用者は大変少ないです。もっと機敏に高齢者が出歩きやすいような、環境を整備するという意味では、この戸口タクシーは有効な手段だと思っております。これを私はできれば北条鉄道等で運送事業を引き受けるこ

とによって、対応できないか検討しますけれども、一方においては市内の民間のタクシー業者の利害もござります。その辺着地点を見出しながら、財源とも相談して検討させていただきます。

少子化対策

Q 厚生労働省は、2006年上半期に生ま

れた赤ちゃんは6年ぶりに増加し、雇用の改善や結婚の増加等が原因と発表している。加西市の出生状況はどうか。特に、学童保育は3年前の全国サービス番付で加西市は全国675市中、ワースト9位。その後どのように向上に取り組まれたのか。少子化対策は、いま最優先して取り組む施策と考えるがどうか。

A 加西市における8月

までの出生数は221人、月平均28名で、このまま推移すると年間で330名程度。昨年は386名で減少が見込まれます。結婚件数の減少、女性の平均初婚年齢の上昇、第1子出生時の母親の平均年齢の上昇など、未婚化、晩婚化、晩

産化の進行によるかと考えます。学童保育には、少子化対策の大きな一つと考えています。伸びない理由は、私どもの考え方の中になりに長いこと子育てというものは家庭がやるべきであるという考え方があって、できるだけ抑制的、制約的にやってきたことが大きな要因だと感じます。

やはりこれからは女性が働くことを前提に考えなければならぬ。については、11園でいいのか、あるいは乗り入れをしてもう少し数を減らすのかも含めて考えを始めているところです。

少子化対策のための予算措置、あるいは予算増の必要性は私も痛感しています。考えられるメニューを洗い出して、何が有効か、優先順位をつけて対応していきます。

福祉施策の取り組み

Q 生活保護支援については、特に公平、公正

さを必要として、正確かつ迅速な対応が要求されると思うが、問題がないか。
障害者自立支援法の軽減措